

The background features a stylized construction site with a crane on the right, a forklift in the center, and a wheelbarrow on the left. In the foreground, a group of seven diverse workers, including men and women in hard hats and work clothes, are smiling and some are raising their fists. The background is filled with colorful, abstract shapes and speech bubbles.

建設産業における

女性の就業継続にむけた

キャリアパス・ロールモデル集

CASE
06

「もう一度、設計の仕事に就きたい！」

子育てとの両立を図り、建築のオールラウンダーに

Check!

POINT

- 子育てが落ち着いたタイミングで設計の仕事に再チャレンジ。
- 会社と家庭の協力を得ながらワークライフバランスの両立を目指す。

根本
かおり氏

有限会社ゼムケンサービス
技術者（建築／設計）



PROFILE



自身のプロフィール概要

- ①職種：技術者（建築／設計）
- ②出身地：神奈川県
- ③学歴：大卒
- ④職歴：20年以上
- ⑤経歴：大学卒業後は、店舗の内装設計に携わり、現職では、建築工事全般に携わる。

所属企業の会社概要

- ・会社名——有限会社
ゼムケンサービス
- ・事業概要——特定建設業、
一級建築士事務所
- ・所在地——福岡県
- ・従業員数——9人
(うち女性8人)



入職した理由、前職の経験等

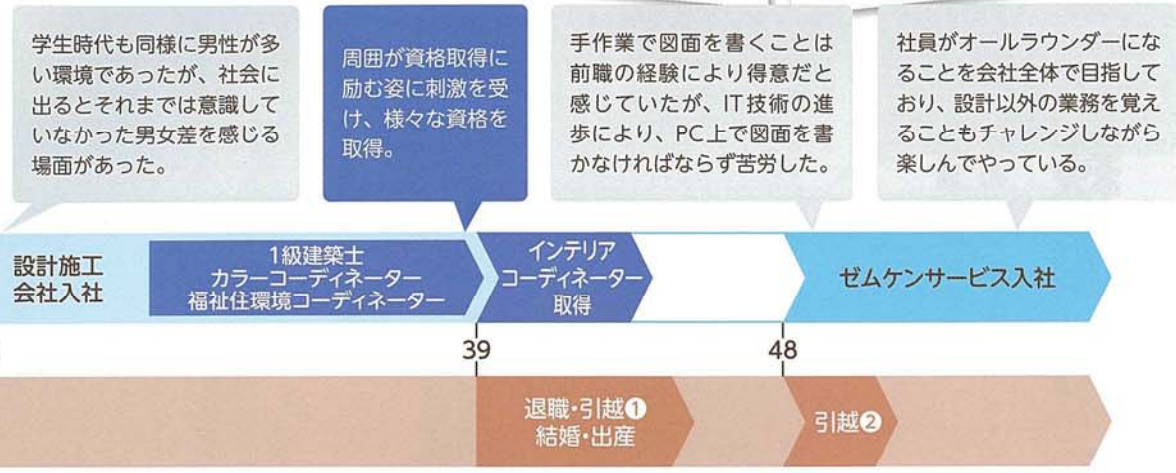
昔から建築物の間取りを見ることが好きだったため、大学も設計に関する学科に入学しました。就職活動時も設計に関する仕事を探しており、流通業を中心に扱う設計施工会社に就職。九州地方を中心に販売店舗の内装設計や現場の監理をしていました。前職においても働き続けたいという思いはありましたが、結婚を機に退職しました。その後、子どもが小学校に進学した際に「もう一度設計の仕事に就きたい」と考え、転職を決意しました。ハローワークで現在の会社の求人を見つけ、社長が女性というのが珍しく興味を持ったため応募し、入社しました。

自身の現在の仕事内容、やりがい

設計だけでなく建築物の着工から完工までの現場監理に必要なすべての業務に携わっています。以前勤めていた設計会社との大きな違いは、設計業務だけでなく幅広い業務に携わらなければならないことです。また、現職に入職するまでの間にIT技術等の進歩により、働き方が大きく変化していることにも驚きました。そのため、今まで経験してこなかったこともあり、苦勞する点もありますが、職人や同僚等の周囲の方々と積極的にコミュニケーションを図りながら業務を行っています。この仕事のやりがいは、多くの人と協力することで建築物が完成していくことです。周囲の方々と情報共有を大切にしながら今後も業務に励んでいきたいです。

これまでのキャリアパス

WORK



PRIVATE

- ◎設計施工会社を退職
結婚後も、仕事を辞めずに続けたいという気持ちを持っていた。夫が離れた地域にあり、同居するため転勤の希望を伝えるも希望が通らず、退職せざるを得なかった。
- ◎育児と仕事の両立（現職場での協力体制）
プライベートも仕事の1つ、プライベートの体験を仕事に生かすと言う方針のもと、学校行事は積極的に参加しているし、介護の会議等にも出席するようにしている。とは言え限られた時間の中で業務を遂行するため、苦勞することもある。皆の協力と工夫で乗り越えている。
- ◎育児と仕事の両立（家庭での協力体制）
親と同居しているので子供が小学生の時はお世話をお願いしていた。帰宅時間が少々遅くなっても安心して仕事に取り組むことができていた。

Q&A

- Q 建設現場の女性就業者について**
A 前職から建設現場で働いて女性が少ないと思っていたが、現職に入社してからより少ないと感じる。今後、建設業界で働く女性を増やすためには、環境整備が必要だと考える。
- Q 働くうえで困ったこと**
A 今までの職場経験において結婚や出産育児を経ても活躍する女性のロールモデルがいなかった。そういった存在がいると参考になるし励みになると感じた。
- Q 会社の取組み**
A ワークシェアリングという取組みを行っており、社員全員が自社が担当している各現場の情報を共有している。そのため、家庭の事情による急な早退にも別の人が対応できるようにしている。
- Q 前職の設計施工会社と現職場との違い**
A 社員のほとんどが女性であること。女性のロールモデルが身近にいるととても励みになる。
- Q 活用した自治体の取組み**
A 特に利用していない。今は実家にいるため学童保育等は利用せず母が面倒を見てくれた。
- Q 今後の目標について**
A 自身が携わっている建築の現場管理業務において、女性でもできるのだと言うところに共感して頂き、建設業で働く女性をどんどん増やしていきたい。

Message!



建設業への入職を考えられている方や就業の継続に悩む方へのメッセージ

私が建設業界に入職したのは、男女雇用機会均等法が施行された年でした。現在は、さらに多様性を尊重する社会へと変わってきています。男性社会と言われる建設業界においても私たち女性が声をあげることで、女性の活躍の場も広がっていくと思います。一緒に建設業界を盛り上げていきましょう！